

令和4年5月30日～6月5日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第5報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

5月30日～6月5日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「注意」を示す21以上25未満となりました。6都市の10年間平均値と比較すると、変動が大きく、6月1日は1以上高くなりましたが、2日は1以上低くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)で東京、名古屋、高知、福岡、鹿児島で「警戒」を示す25以上28未満、沖縄で「厳重警戒」を示す28以上31未満となる日がありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、東北地方以南で25以上、奄美・小笠原地方では28以上、沖縄地方では31以上となる日がありました。

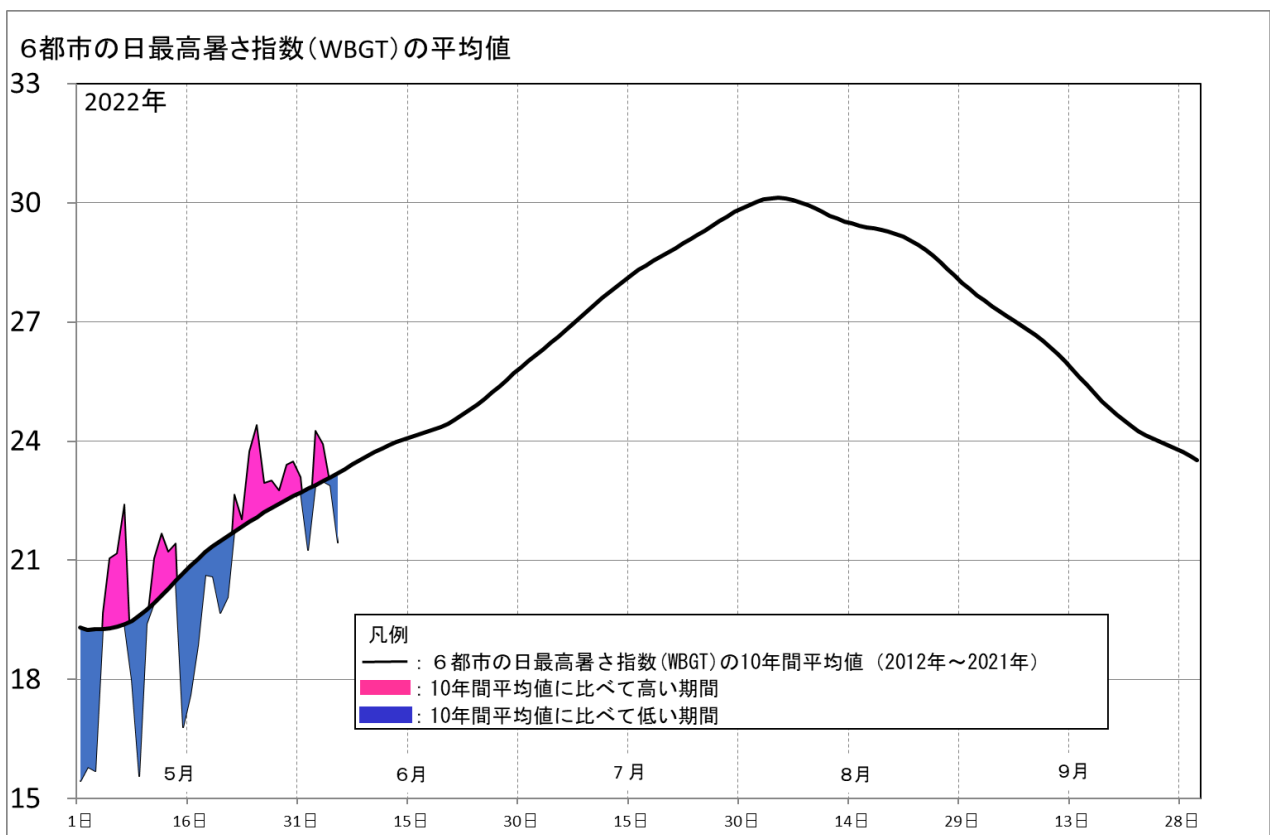


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月30日～6月5日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
30	18.9	18.8	23.6	25.4	25.4	23.3	19.2	20.0	24.0	26.2	30.2	23.5
31	12.7	15.2	22.5	20.1	23.4	24.4	22.7	26.8	25.5	27.3	27.5	23.1
1	15.4	19.7	20.5	20.7	21.2	19.7	21.5	22.5	23.9	21.9	28.9	21.3
2	16.8	21.2	22.5	25.1	25.2	23.1	23.7	23.1	26.0	25.5	28.2	24.3
3	14.5	18.7	20.4	25.2	24.3	24.4	23.4	24.8	25.9	25.2	27.6	23.9
4	13.6	20.7	19.1	23.1	22.9	22.7	22.6	25.5	26.9	27.0	25.1	22.9
5	14.7	18.3	17.8	25.7	25.6	21.5	17.6	21.0	20.5	20.8	30.7	21.5

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月30日～6月5日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
25以上	0	0	0	5	3	0	0	6	12	18	97

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

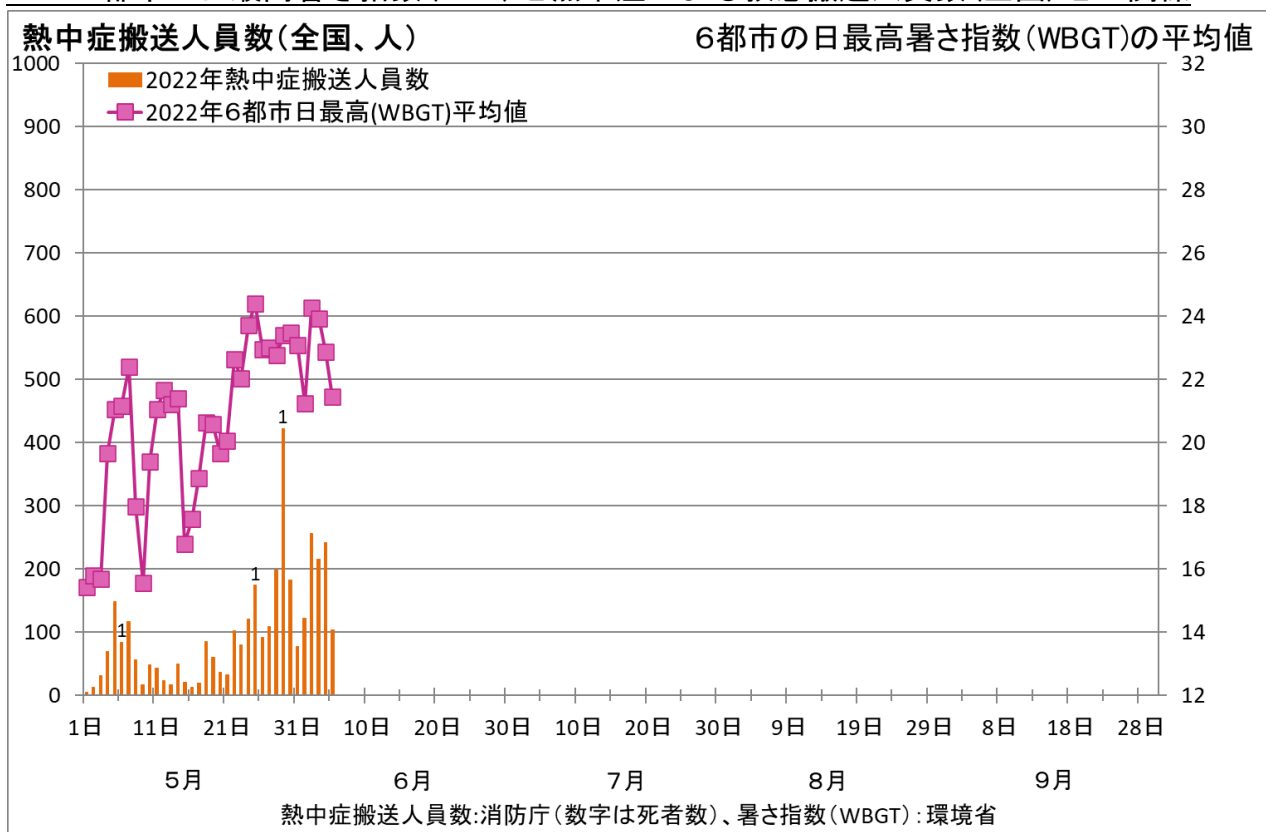


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月30日から6月5日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「注意」を示す21以上25未満となりました。(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、6月2日の257名が最高で、この期間の総数は1,203人となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

5月30日から6月5日までの熱中症警戒アラート発表状況は、以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（5月30日から6月5日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0.5	
のべ回数	0	0	0	0	2	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

6月10日までは、北陸地方以南では「警戒」を示す25以上、近畿地方以南で「嚴重警戒」を示す28以上、沖縄地方で「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（6月8日発表、予報期間：6月9日～6月15日）によると、「最高気温と最低気温はともに、全国的には平年並か平年より低い日が多い見込みですが、沖縄地方は期間の前半平年より高い日が多い見込みです。」となっております^{※4}。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○気温変化が激しい状況が続いております。体の変化に順応できない中で、急に気温・湿度が高くなる日もありますので、熱中症には十分お気を付け下さい。特に体調の変化に気付きにくい高齢者や子どもさんには、積極的な声かけ等をお願いいたします。

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷			
上川・留萌		網走・北見・紋別			
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室		
胆振・日高					
渡島・檜山					
		北陸		東北	
				青森	
				秋田	岩手
				山形	宮城
		石川	富山	新潟	福島
		福井	岐阜	長野	群馬
		山梨	茨城	栃木	埼玉
		三重	愛知	静岡	東京
		和歌山	千葉	神奈川	
		東海		関東甲信	
中国		九州北部			
山口	島根	鳥取	兵庫	京都	滋賀
	広島	岡山	大阪	奈良	
長崎	佐賀	福岡	近畿		
熊本	大分	愛媛	香川		
鹿兒島	宮崎	高知	徳島		
奄美	奄美	四国			
九州南部					
奄美					
沖縄					
沖縄本島					
八重山	宮古島	大東島			